

(作成年月日) 2024年3月12日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 症候の有無が内視鏡的総胆管結石治療時の偶発症に与える影響を調べる  
後ろ向き研究

### [研究の目的]

総胆管結石を持つ患者さんに対して、これまで日常診療で行われてきた内視鏡治療を実施した際の偶発症発生率を症状の有無に分類して調査することで内視鏡を用いた総胆管結石の治療基準を見直すため。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

総胆管結石の患者さんで、2015年8月1日から2023年12月31日の間に、消化器内科に通院・入院された方)

#### ○利用する検体・情報

検体：なし

情報：診断名、年齢、性別、症状、総胆管結石数、結石径、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)、内視鏡手術記録および画像、内服薬、既往歴、術前休薬の有無、易出血性基礎疾患の有無、内視鏡的乳頭切開(EST)範囲、入院中死亡の有無

#### ○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

### [研究組織]

香川大学医学部 消化器・神経内科学 助教 鎌田英紀

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 中林良太

電話 087-891-2156 (直通) 8:30~17:15 FAX 087-891-2158